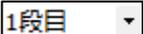


平面設計 Ver. 2 ユーザーガイド

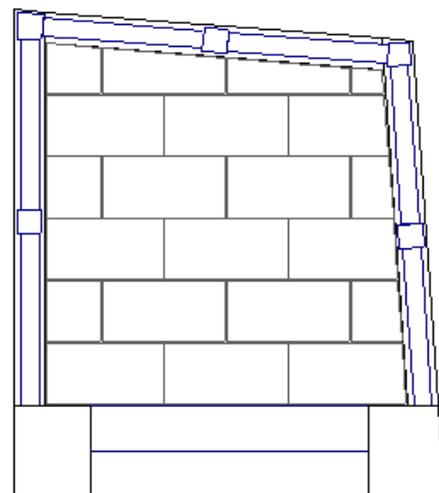
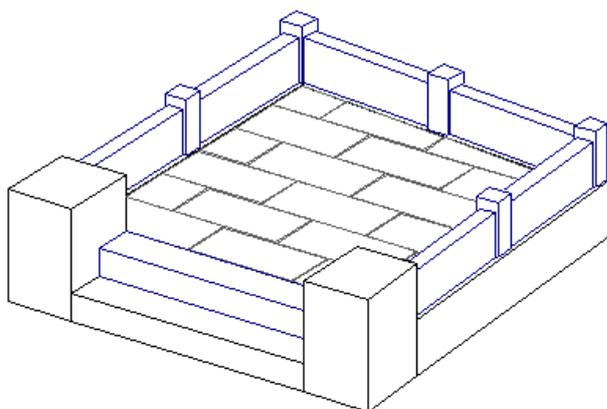
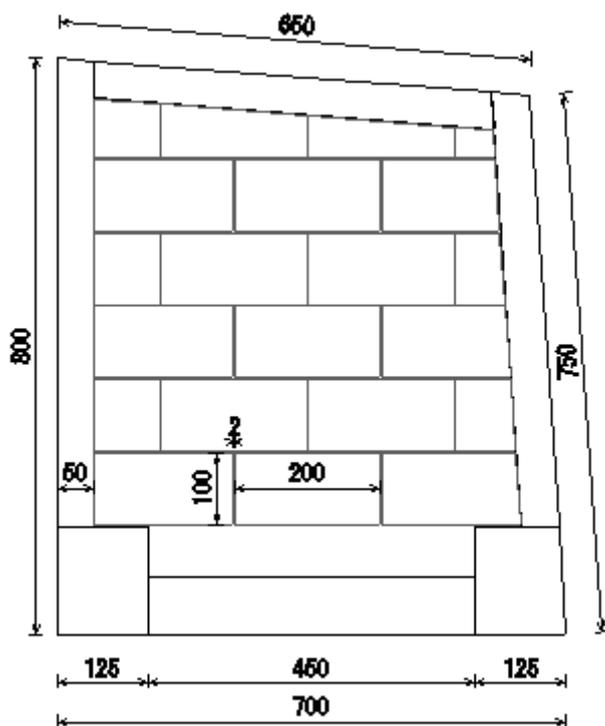
第3版

第 1 章	平面設計チュートリアル	3
第 2 章	平面設計 V2 ユーザーガイド	22
第 1 節	図面管理からの起動.....	22
第 1 項	平面設計起動設定.....	22
第 2 節	新規設計 	22
第 1 項	形状選択.....	22
第 2 項	厚み・チリ・高さ・目地幅.....	24
第 3 節	敷地の回転・反転	24
第 1 項	敷地の回転	24
第 2 項	敷地の反転	24
第 4 節	敷地頂点の変更.....	25
第 1 項	敷地頂点の選択	25
第 2 項	敷地頂点変更.....	25
第 3 項	敷地頂点追加.....	25
第 5 節	凹み作成	26
第 1 項	敷地への凹み作成.....	26
第 6 節	合口の変更.....	26
第 1 項	クリックでの変更 	26
第 2 項	合口の形状を指定して変更.....	26
第 7 節	部材分割	27
第 1 項	部材選択.....	27
第 2 項	部材分割 	27
第 3 項	指定した長さで分割	27
第 4 項	等分割	27
第 5 項	三角形に分割.....	28
第 6 項	線分を指定して分割	28
第 7 項	座標を指定して分割	28
第 8 節	部材の変更.....	28
第 1 項	部材の厚み変更 	28

第 2 項	部材の高さ変更 	28
第 9 節	範囲作成		29
第 1 項	範囲とは		29
第 2 項	頂点を指定して範囲を作成 	29
第 3 項	作成した範囲の固定化 	29
第 4 項	四角形の範囲を作成 	29
第 10 節	線分作成		29
第 1 項	線分とは		29
第 2 項	線分の選択 	29
第 3 項	線分の追加 	30
第 11 節	敷石処理		30
第 1 項	敷石作成 	30
第 2 項	範囲敷石削除 	30
第 3 項	部材作成 	30
第 12 節	段の追加と削除		31
第 1 項	段の追加 	31
第 2 項	段の削除 	31
第 3 項	段の切り替え  1段目	31
第 13 節	プレビュー		32
第 1 項	外観図表示 	32
第 14 節	墓石設計の起動		33
第 1 項	墓石設計の起動 	33
第 2 項	新規設計時の墓石設計の起動		33
第 3 項	既存データ読み込み時の墓石設計の起動		33

第1章 平面設計チュートリアル (さあ、やってみよう)

下記の例題を使って平面設計の操作手順を説明します。

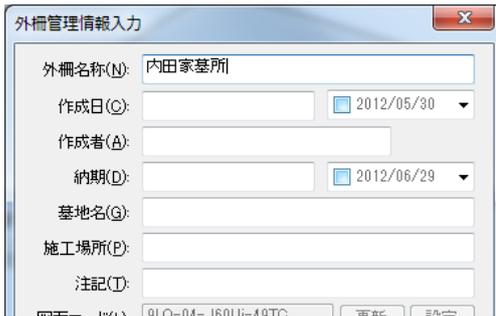


平面設計の起動

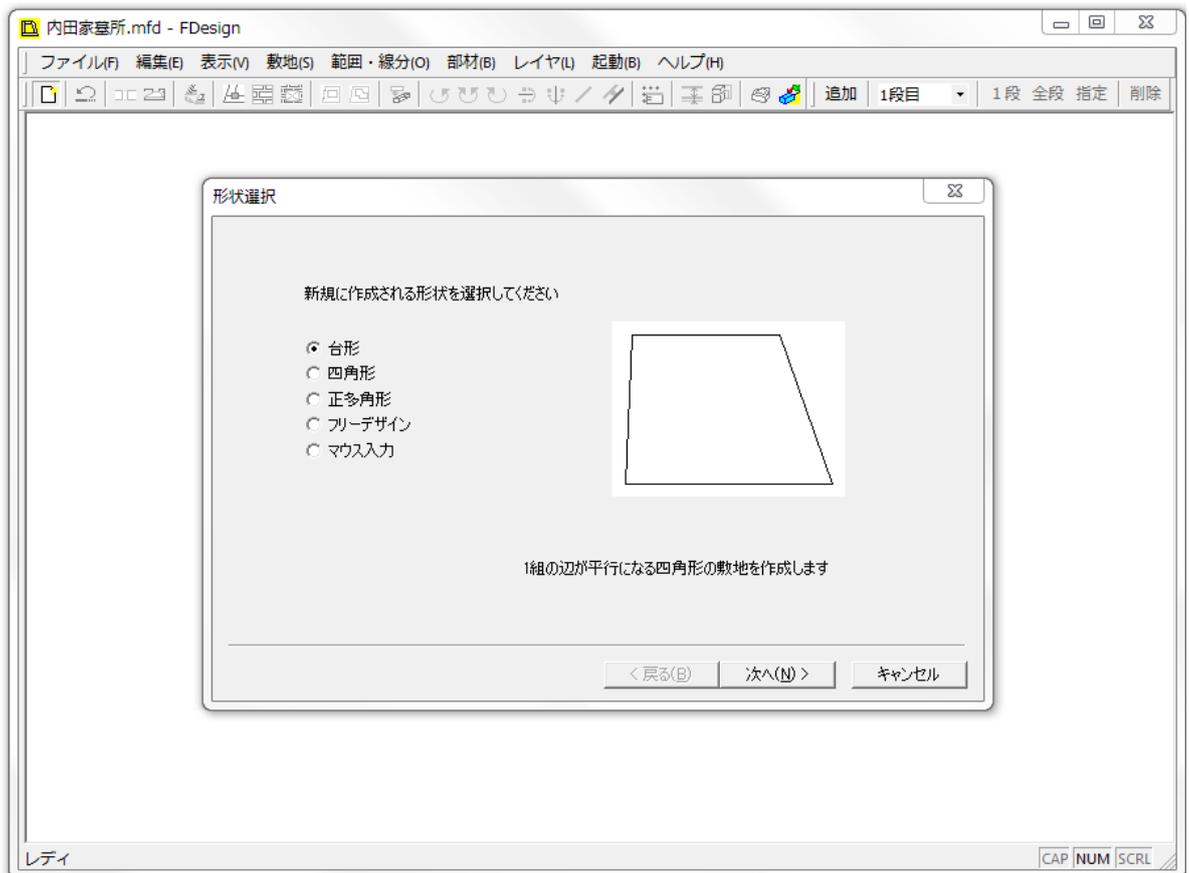
1. 図面管理を立ち上げ、「新規設計…」 - 「平面設計」をクリックします。



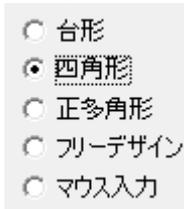
2. 外柵管理情報を入力し【OK】をクリックします。



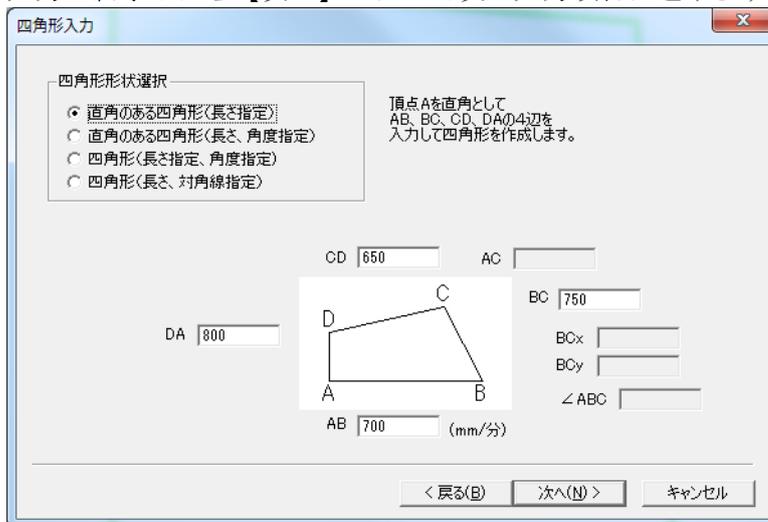
3. 平面設計が立ち上がります。



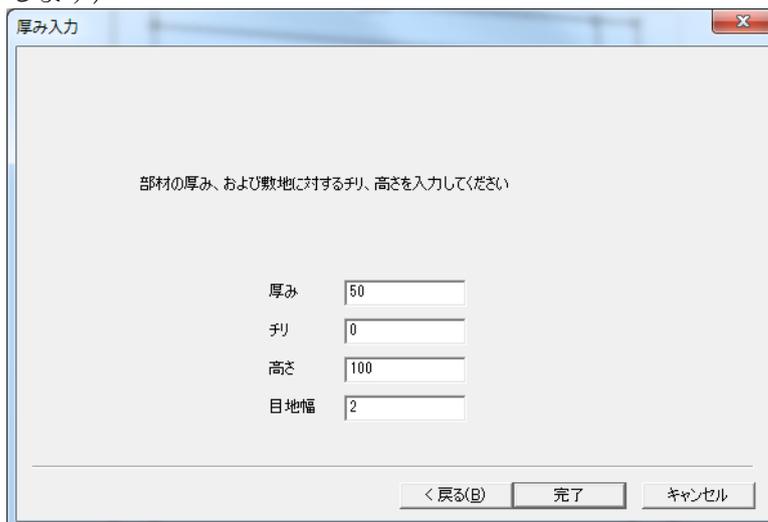
- 今回は「四角形」の敷地を作成しますので、【四角形】を選択し、【次へ】をクリックします。



- 直角のある四角形なので【直角のある四角形（長さ指定）】を選択し、AB、BC、CD、DAの値を入力します。（今回はAB=[700]、BC=[750]、CD=[650]、DA=[800]を入力します。）
- 入力が終了したら【次へ】ボタンで次の入力項目に進みます。

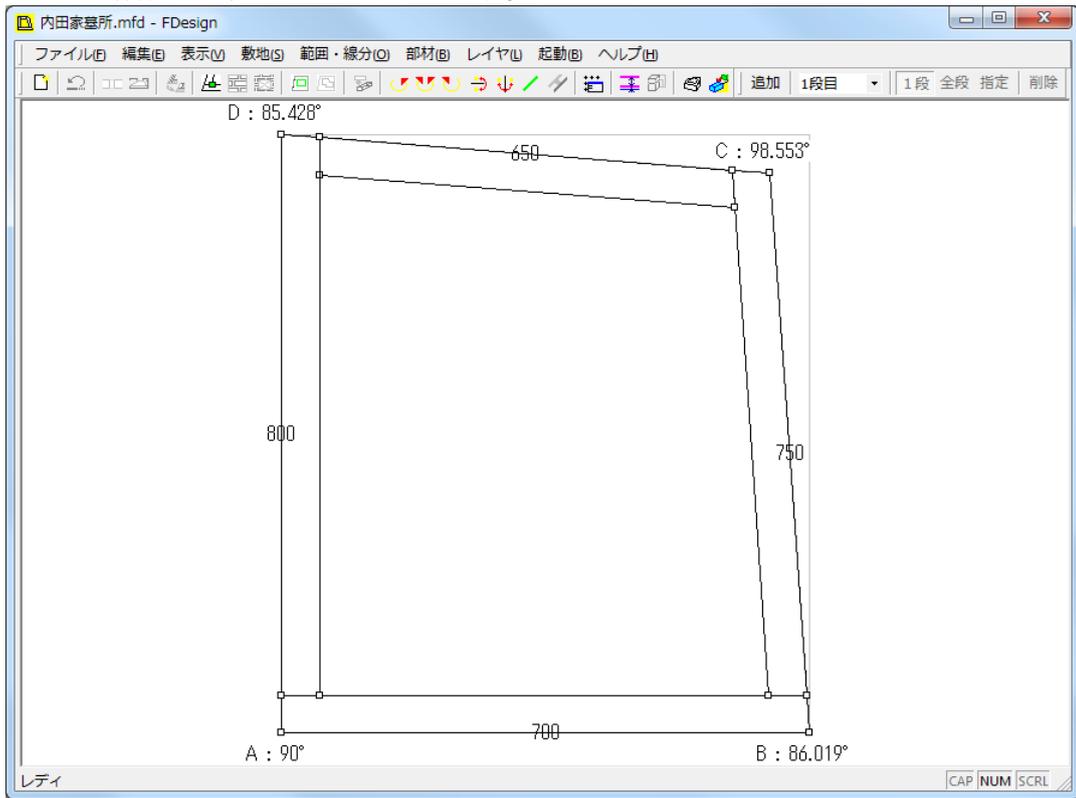


- 敷地の形状が作成できたので、作成した敷地に対する部材の厚み、チリ、1段目の高さ、目地幅を入力します。（今回は、厚み=[50]、チリ=[0]、高さ=[100]、目地幅=[2]を入力します）



- 入力が終了したら【完了】をクリックします。

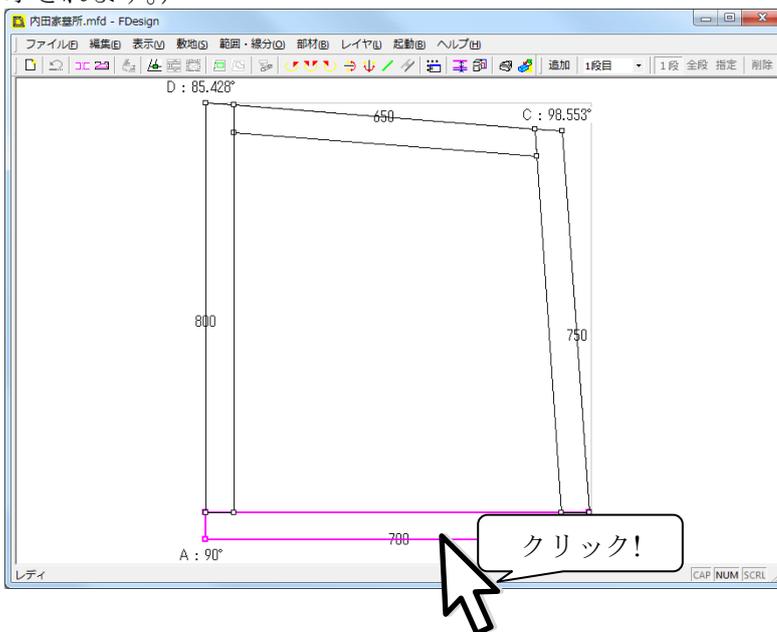
9. 1段目が作成され、画面に表示されます。



親柱部分の作成

1段目の親柱にあたる部材を作成します。

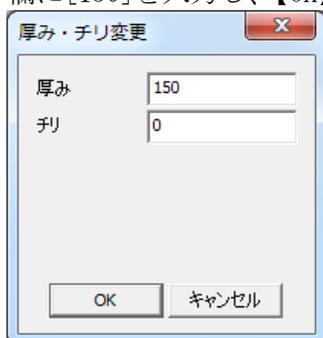
1. 辺 AB 上にある部材をクリックして選択します。(選択された部材はピンク色の太線で表示されます。)



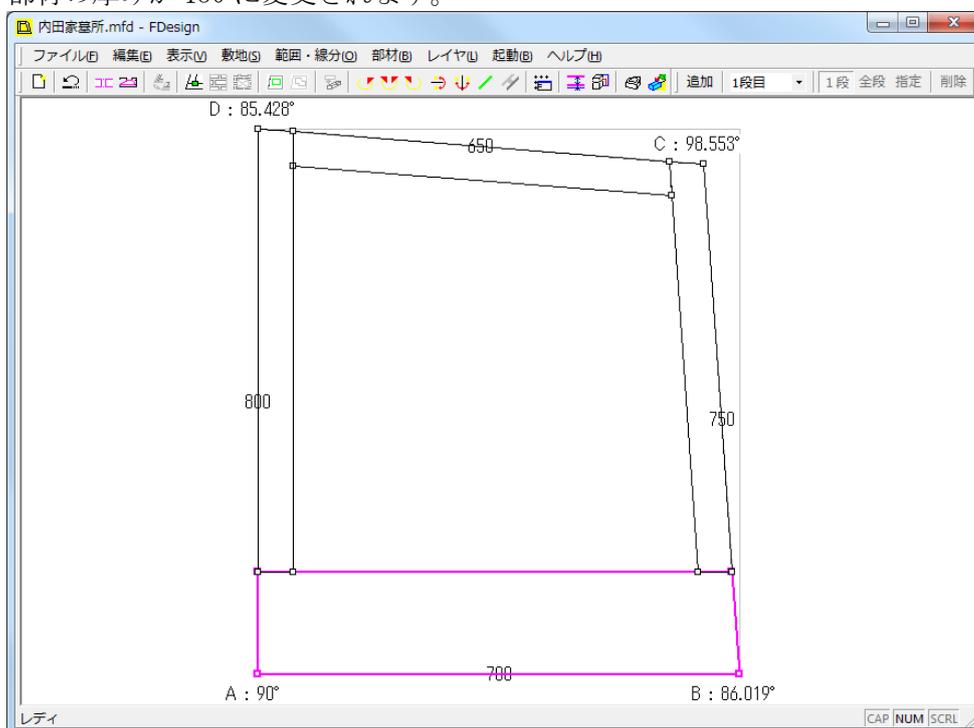
2. 部材選択後、右クリックを行い、表示されるメニューより【厚み変更(O)】をクリックします。



3. 親柱の奥行を 150 にしたいので、表示された「厚み・チリ変更」ダイアログの厚み入力欄に[150]を入力し、【OK】ボタンをクリックします。



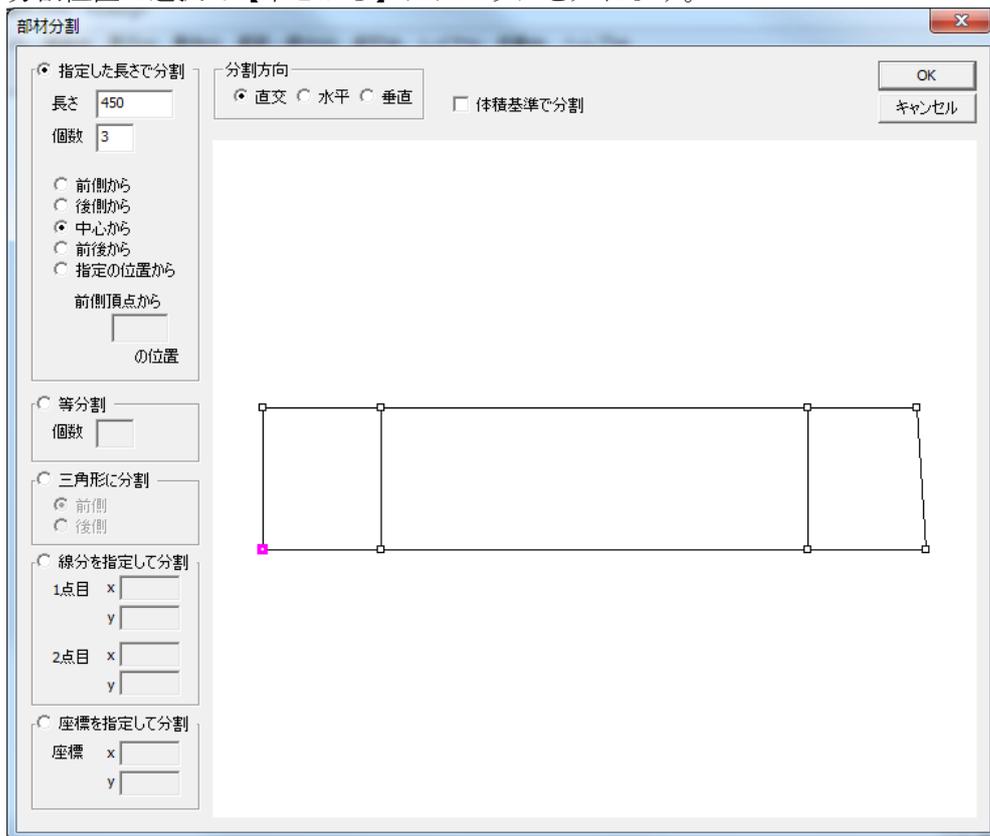
4. 部材の厚みが 150 に変更されます。



- 次に、部材を分割して親柱となる部材を作成します。
- 辺 AB 上の部材を選択している状態で、右クリックを行い、表示されるメニューより【部材分割(D)】をクリックします。

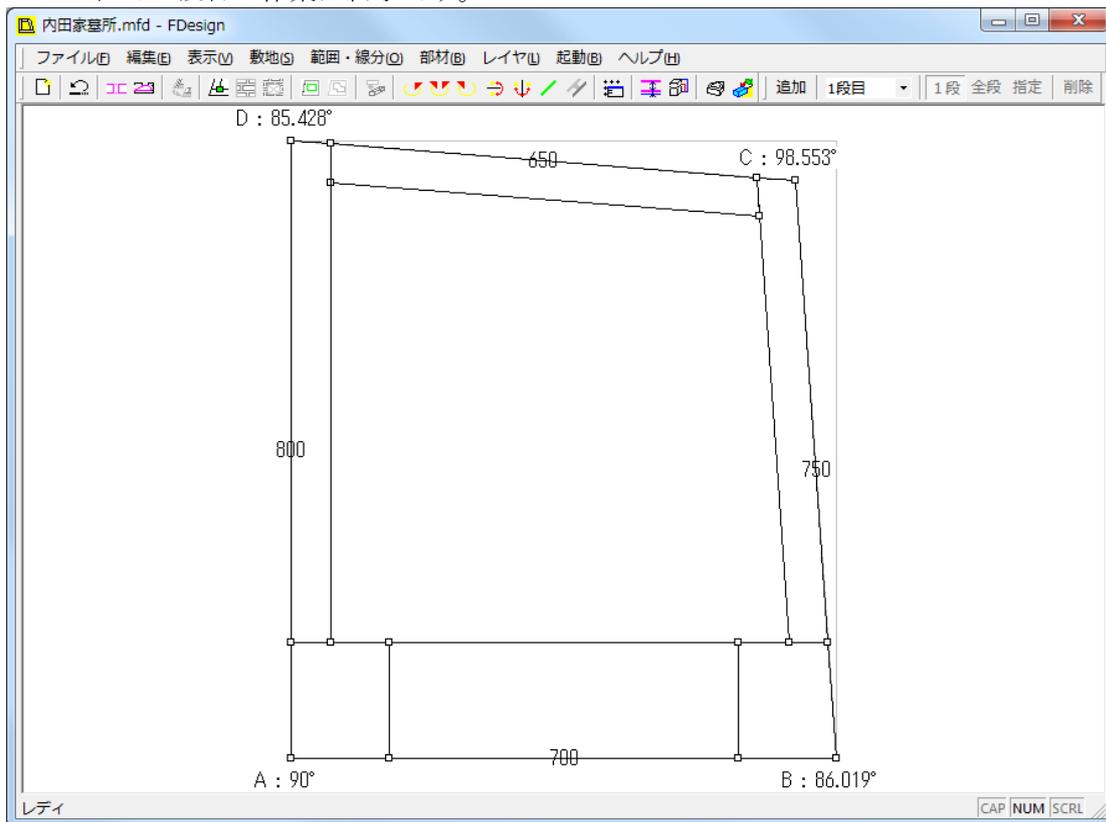


- 敷地の中央部分に 450 の階段、残りを 2 分割して親柱としたいので、分割方法を【指定した長さで分割】を選択します。
- 分割パラメータとして長さ入力欄に階段部分の長さ [450]、個数入力欄に分割後の個数 [3] を入力します。
- 分割位置の選択で【中心から】にチェックを入れます。



- 選択した部材が、中央を 450 として、3 つに分割されます。
- プレビュー上で正しく分割できていることを確認し、【OK】ボタンをクリックして、図面に反映させます。

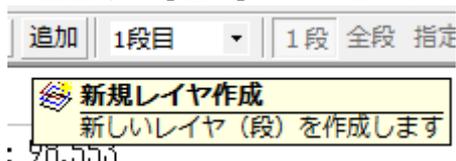
12. これで一段目の作業は終了です。



2 段目の作成

1 段目の作成が終了したので 2 段目の作成を行います。

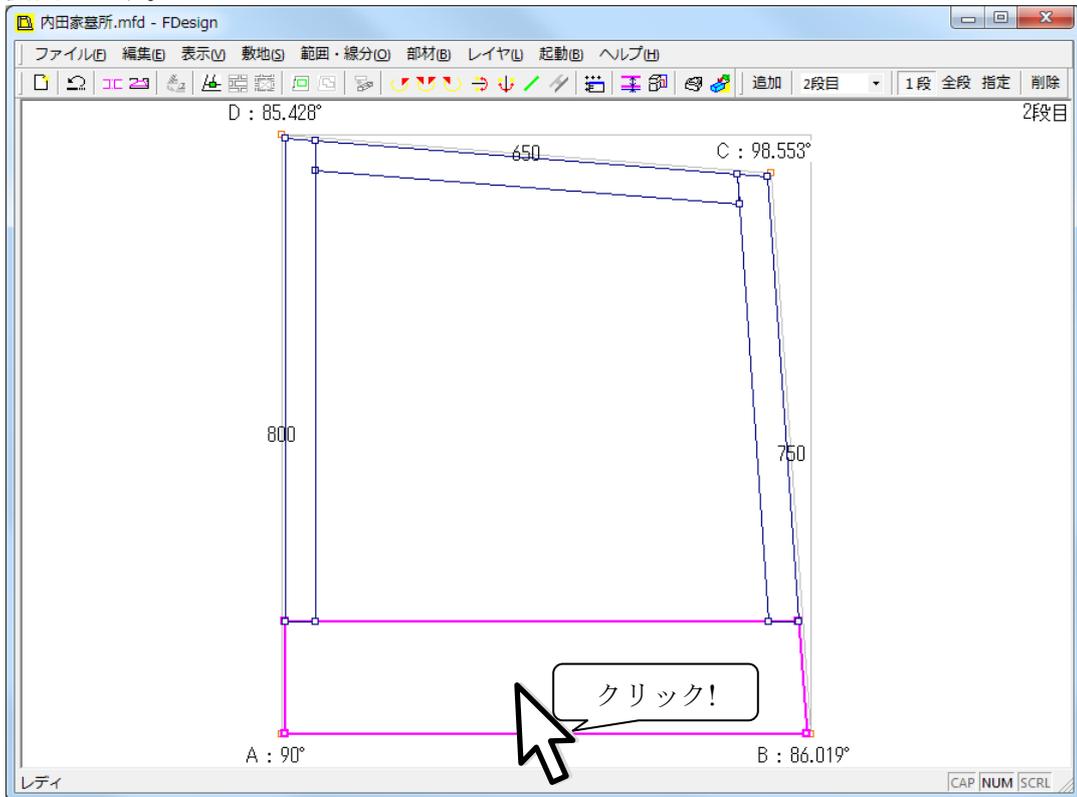
1. 画面上部の【追加】ボタンをクリックします。



2. 新しく作成する 2 段目の設定情報を入力し、【OK】ボタンをクリックします。(今回は、厚み=[40]、チリ=[5]、目地=[2]、部材高さ=[100]、配置高さ=[100]を入力します。



- 1 段目と 2 段目の形状を合わせるため、辺 AB 上の部材を選択後、右クリックし、表示されるメニューより【厚み変更(0)】をクリックし、部材の厚みを[150]、チリを[0]に変更します。



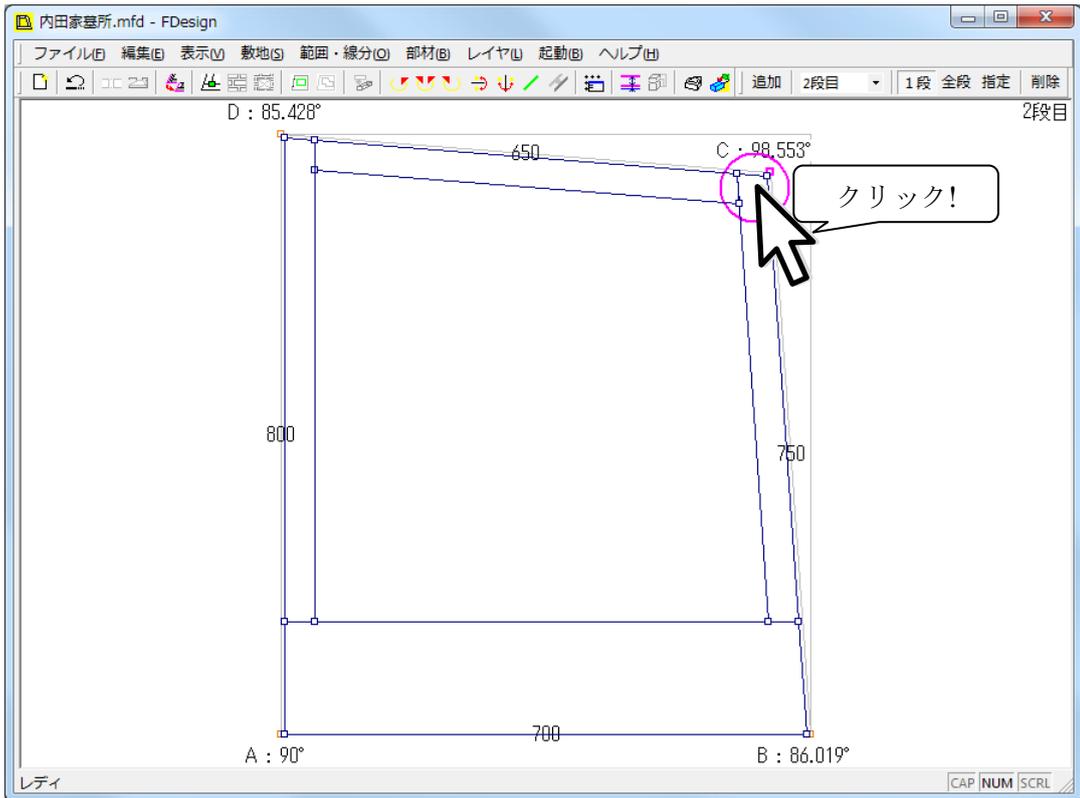
小柱部材の作成

部材の合口形状を変更し、小柱部材を作成します。

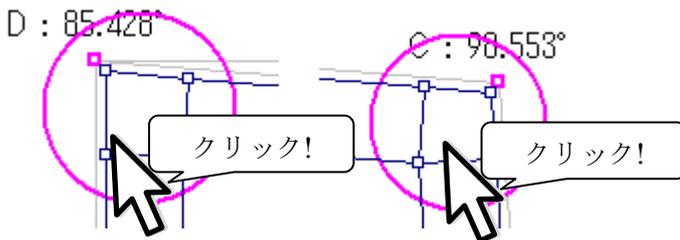
1. 画面上で右クリックし、表示されるメニューから【選択モード】→【敷地頂点選択(V)】をクリックします。



2. 頂点 C、D の合口を変更し、小柱部材を作成します。
3. 画面右上の頂点 C の角付近をクリックで選択します。(選択された敷地頂点は、ピンク色の円で囲まれます。)



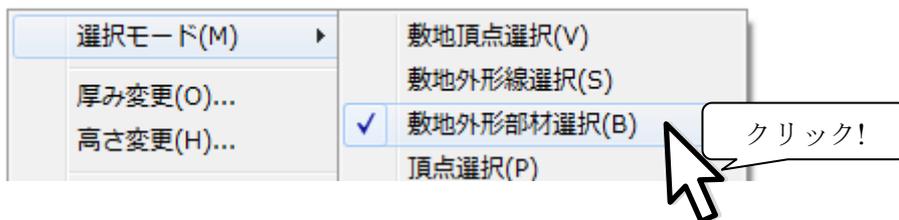
4. 頂点Cの角付近を何度かクリックし、合口形状を小柱形状に変更します。



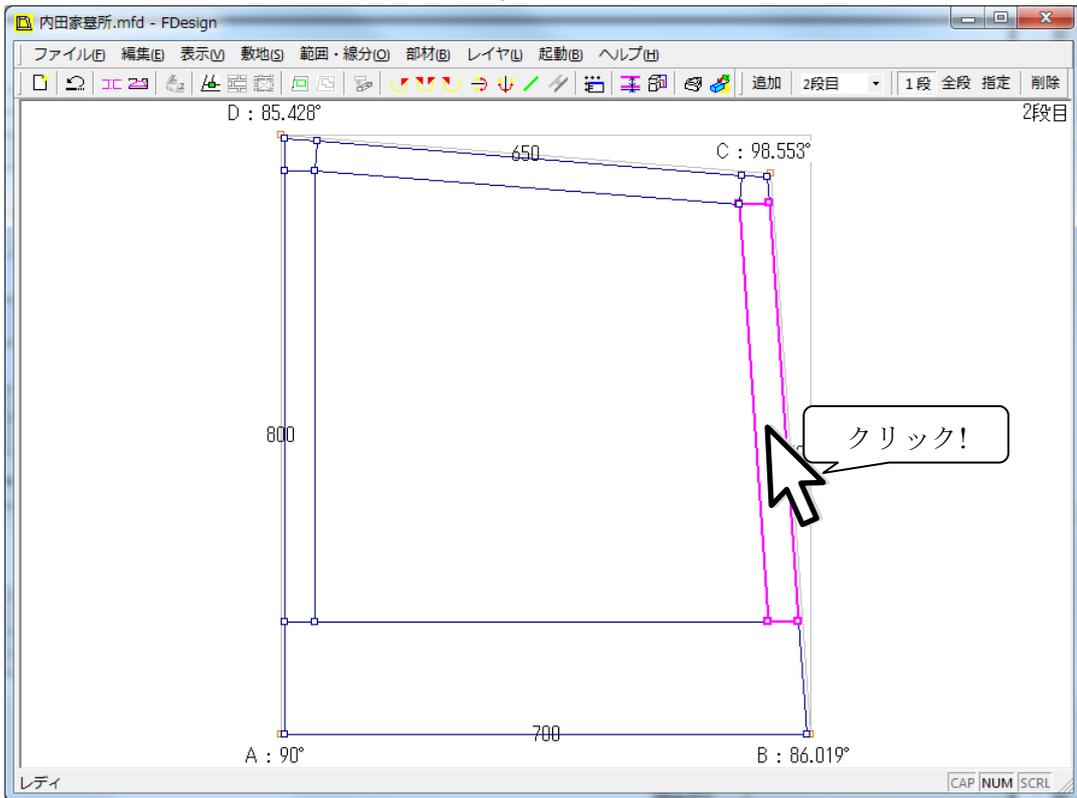
5. 同様に頂点Dの角付近を何度かクリックし、合口形状を小柱形状に変更します。

羽目にあたる部材の中間に小柱を作成します。

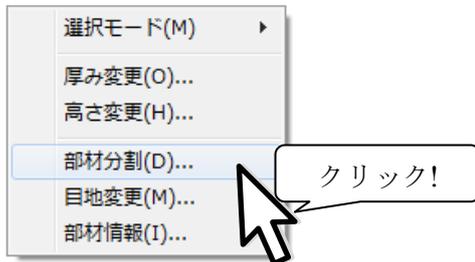
1. 画面上で右クリックし、表示されるメニューから【選択モード】→【部材選択(B)】をクリックします。



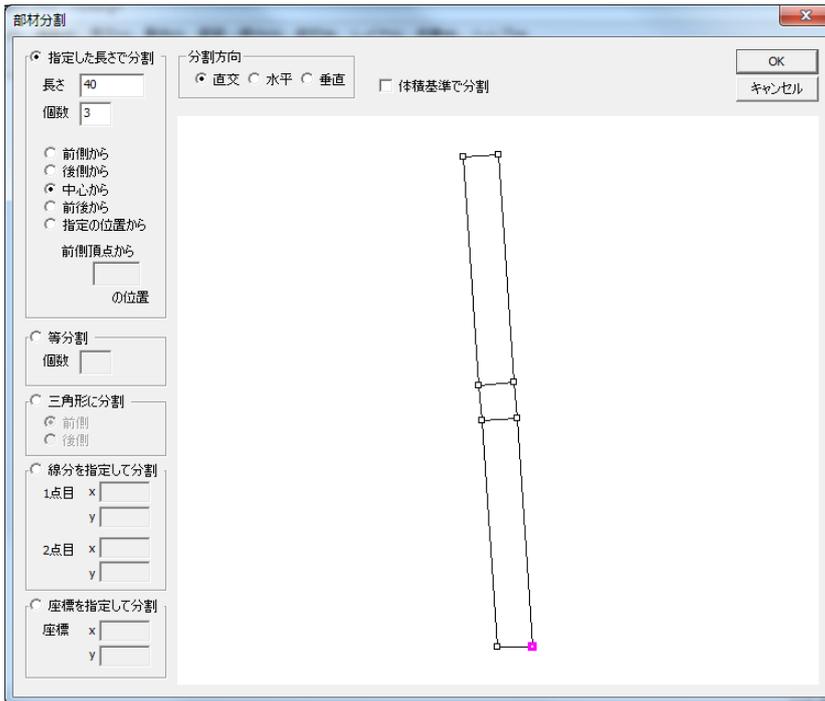
2. 辺 BC 上の部材をクリックで選択します。



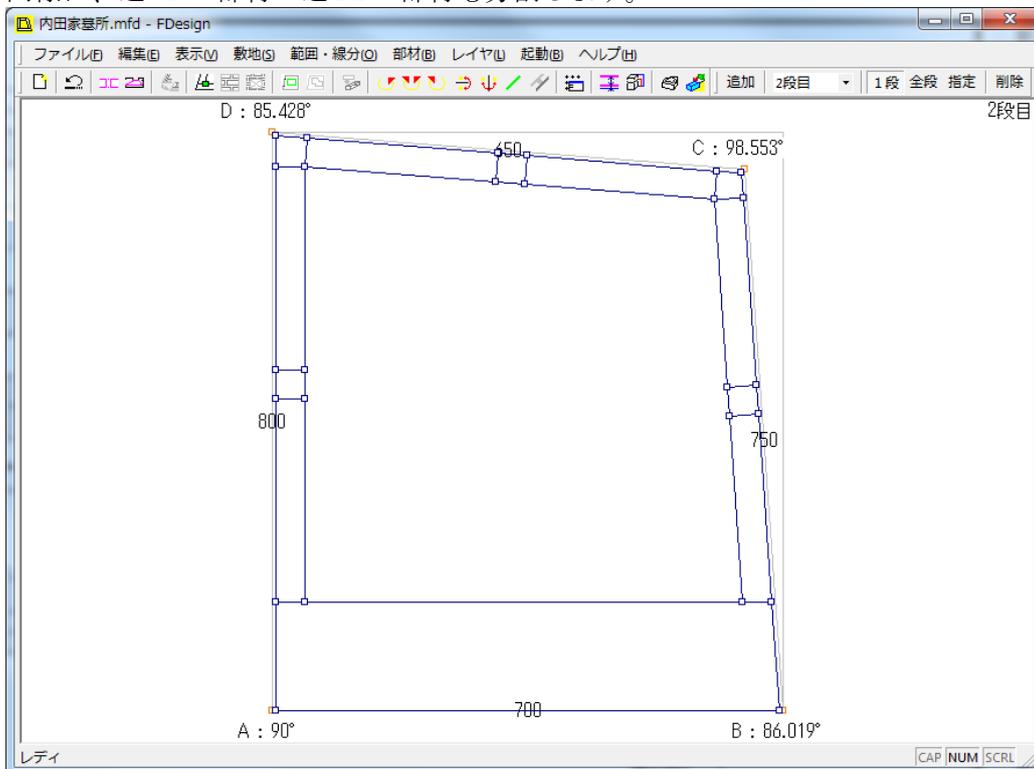
3. 右クリックし、表示されるメニューから【部材分割(D)】をクリックします。



4. 今回は中央に小柱を作成しますので、【指定した長さで分割】を選択します。
5. 分割パラメータとして長さ入力欄に小柱の長さ[40]、個数入力欄に分割後の個数[3]を入力します。
6. 分割位置の選択で【中心から】にチェックを入れます。
7. 選択した部材が、中央を 40 として、3 つに分割されます。

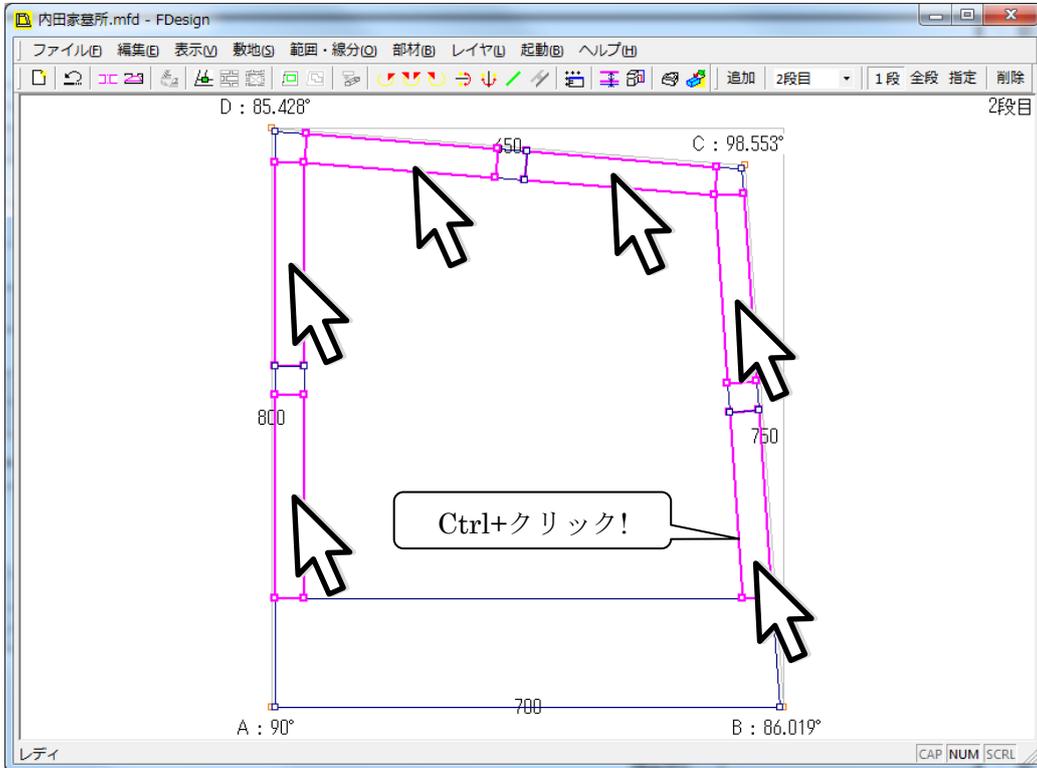


8. プレビュー上で正しく分割できていることを確認し、【OK】ボタンをクリックして、図面に反映させます。
9. 同様に、辺 CD の部材・辺 DA の部材も分割します。

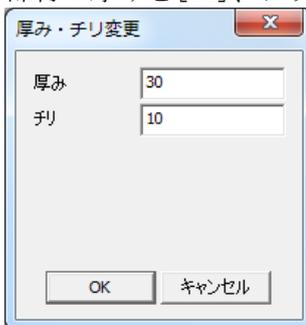


羽目にあたる部材の厚み・高さを変更します。

1. キーボードの **Ctrl** キーを押しながら、羽目となる部材をクリックで選択していきます。
2. 6つの部材を選択後、右クリックし、表示されるメニューから【厚み変更(O)】をクリックします。



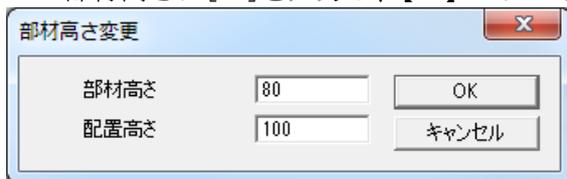
3. 部材の厚みを[30]、チリを[10]として【OK】ボタンをクリックします



4. 6つの部材を選択している状態で、再度右クリックし、表示されるメニューから【高さ変更(H)】をクリックします。



5. 部材高さに[80]を入力し、【OK】ボタンをクリックします。



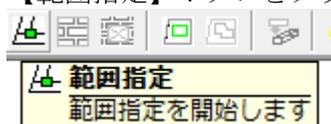
敷石の作成

指定した範囲に敷石を行います。

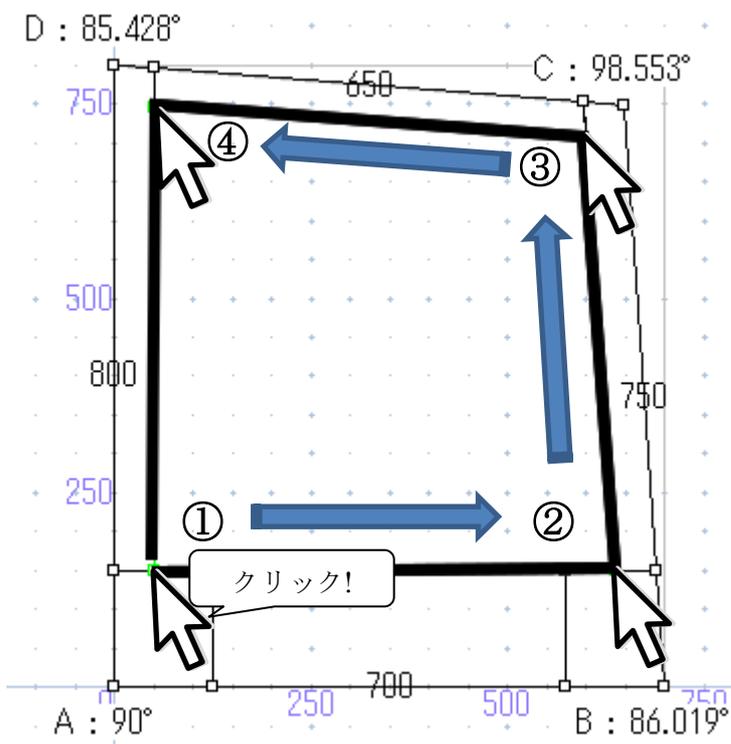
1. 外柵 1 段目に対して敷石処理を行います。
2. 画面上部のコンボボックスで【1 段目】を選択します。



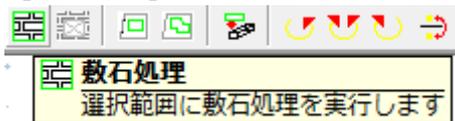
3. 【範囲指定】ボタンをクリックし、敷石の範囲を指定していきます。



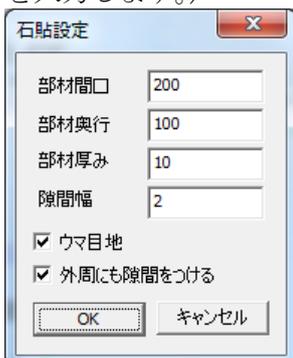
4. 頂点 A の内側点(①)、頂点 B の内側点(②)、頂点 C の内側点(③)、頂点 D の内側点(④)を順番通りにクリックで選択し、緑色の線で囲まれた状態にします。



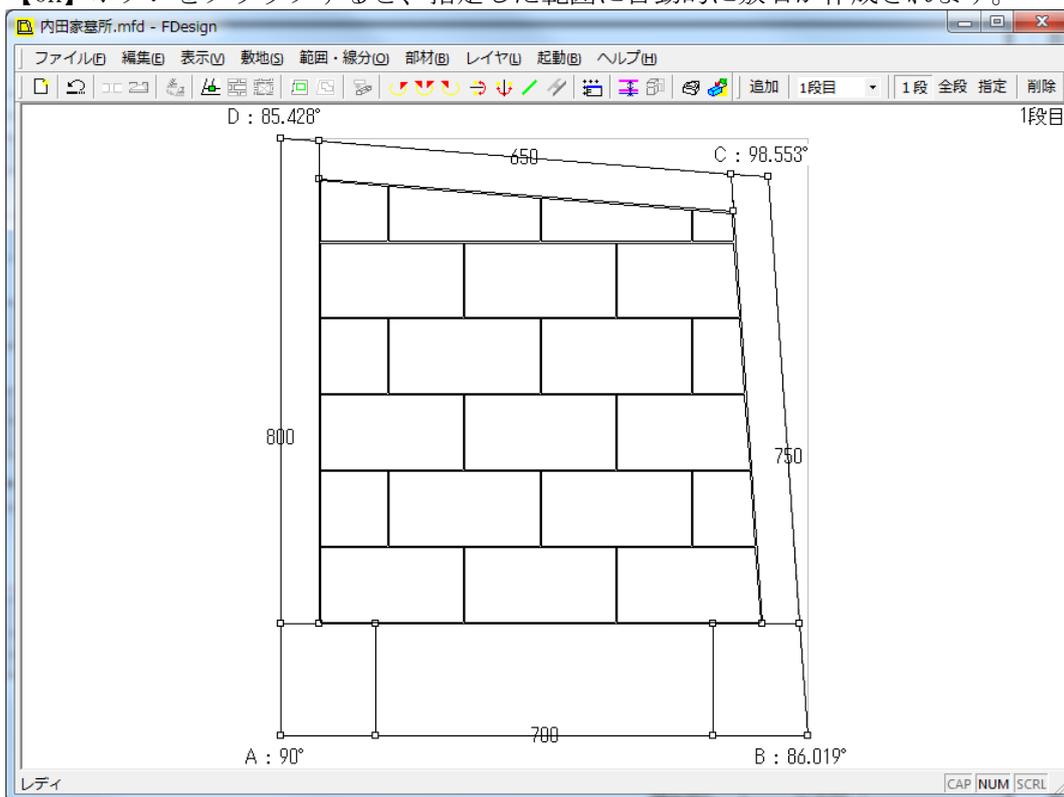
5. 【敷石処理】 ボタンをクリックします。



6. 敷石に使用される1つの部材の寸法を入力します。(今回は、部材間口=[200]、部材奥行=[100]、部材厚み=[10]、隙間幅=[2]、ウマ目地=[ON]、外周にも隙間をつける=[ON]を入力します。)



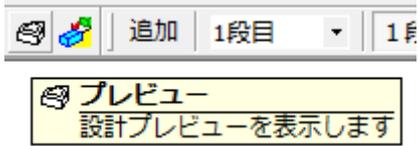
7. 【OK】 ボタンをクリックすると、指定した範囲に自動的に敷石が作成されます。



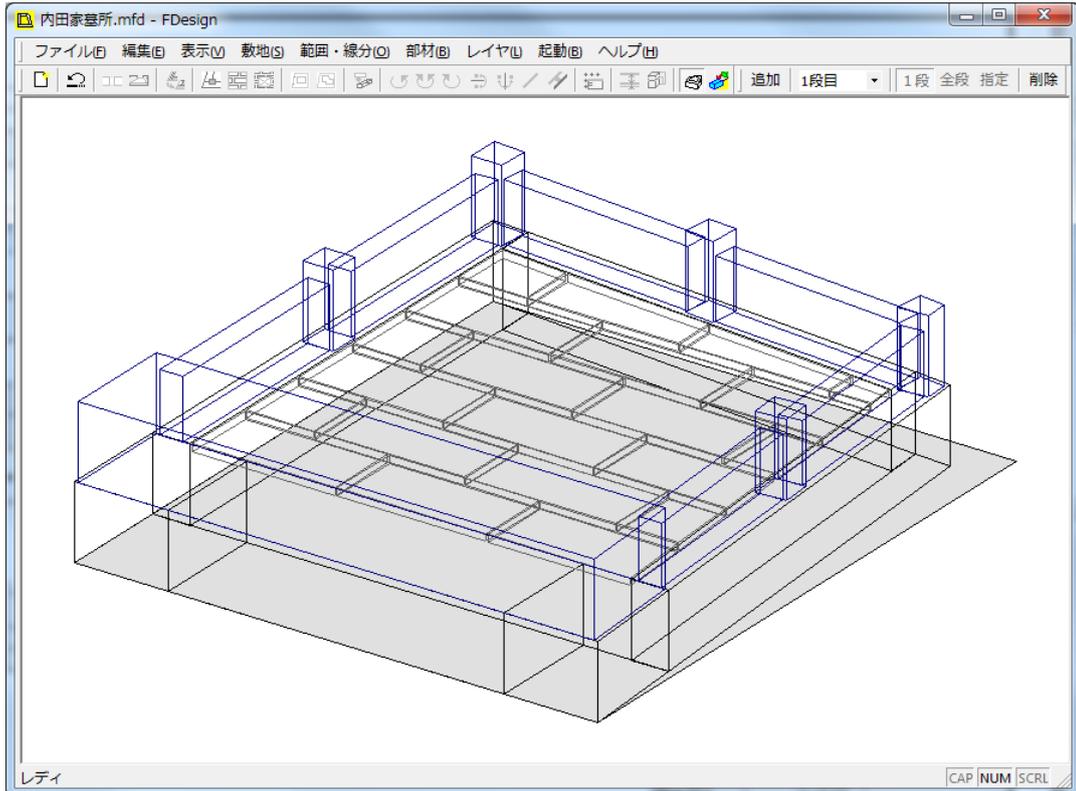
外観図の表示

墓石設計を起動する前に各部材の高さを外観図で確認します。

1. すべての部材の作成後、【プレビュー】ボタンをクリックします。



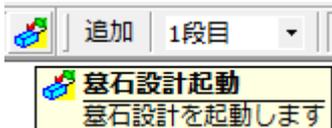
2. 画面に表示される外観図で各部材の高さを確認します。



墓石設計の起動

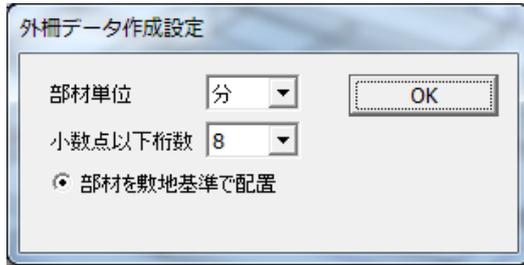
平面設計のデータから墓石設計の外柵データ (MBL) を作成します。

1. 画面上の【墓石設計起動】ボタンをクリックします。

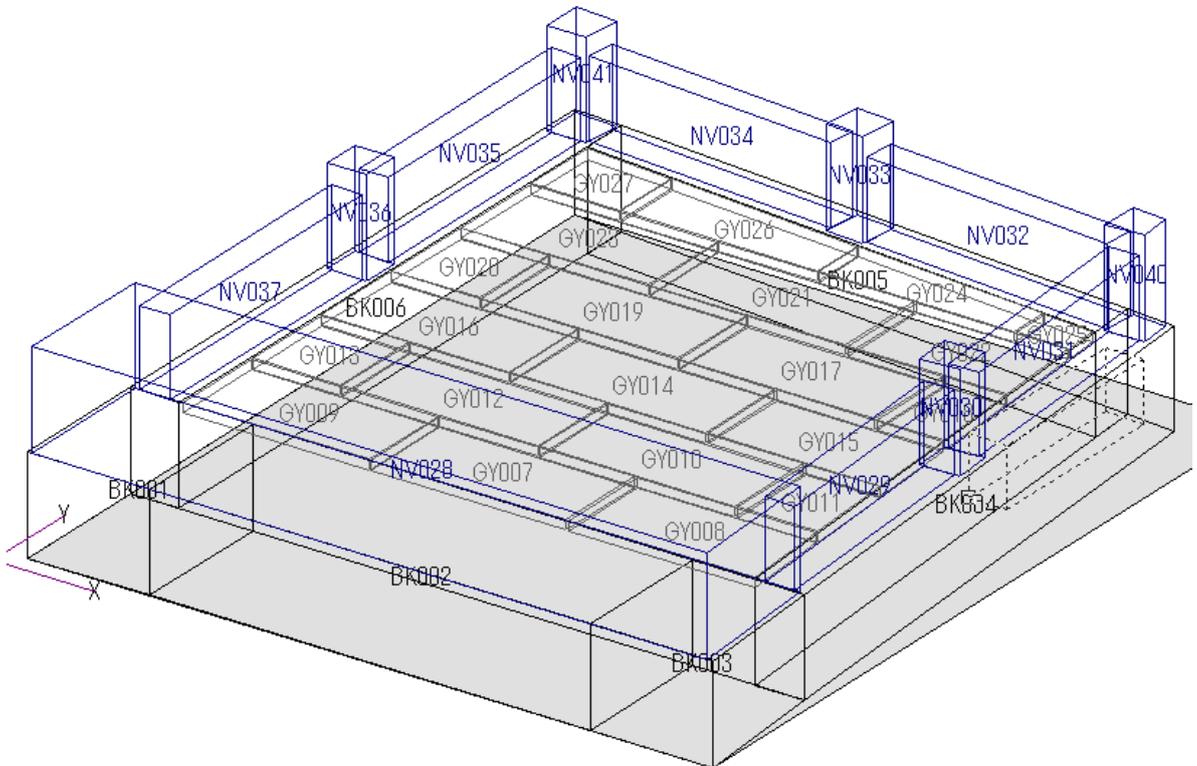


2. 平面設計データの保存確認ダイアログで【はい(Y)】ボタンをクリックします。
3. 外柵データ (MBL) を上書き確認ダイアログで【はい(Y)】をクリックします。

4. 外柵データ作成設定ダイアログが表示されるので、部材単位と小数点以下桁数を入力します。(今回は、部材単位=[分]、小数点以下桁数=[8]を入力します。)



5. 入力が終了したら、【OK】 ボタンをクリックします。
6. 平面設計で作成された外柵が、墓石設計で表示されます。

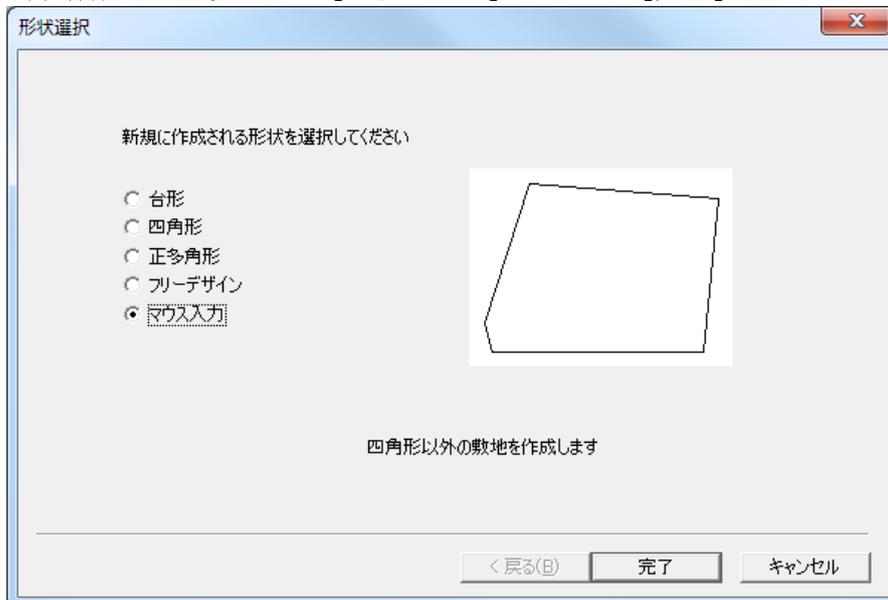


7. 以上で、平面設計の操作は終了です。墓石設計起動後は、部材の入替、石塔の配置など、通常通りの設計を行い、図面を作成してください。

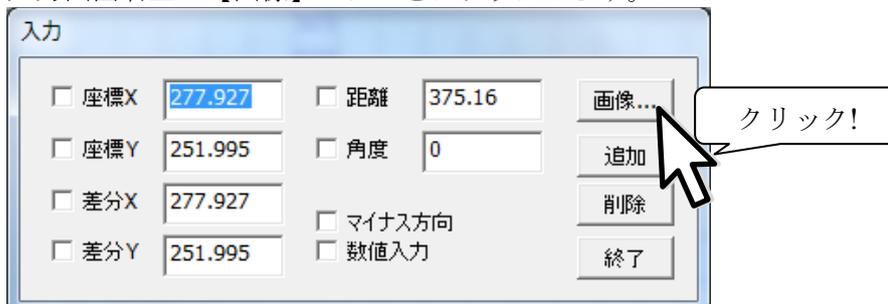
付録・マウス入力（画像読込）による敷地の作成

画像ファイルを取り込み、取り込まれた画像上をクリックで選択していくことで敷地を作成できます。

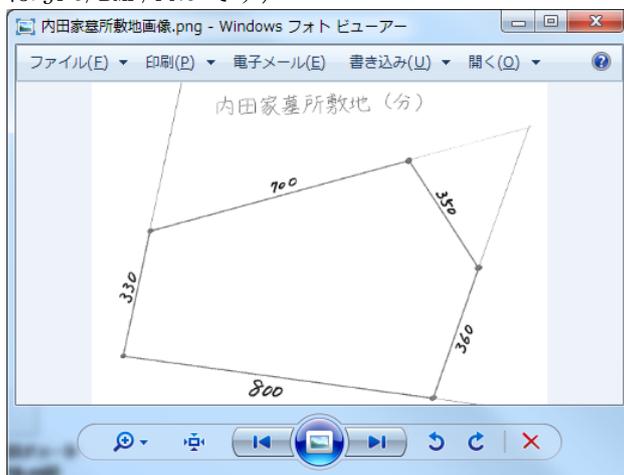
1. 新規作成時の形状選択で【マウス入力】を選択し【完了】をクリックします。



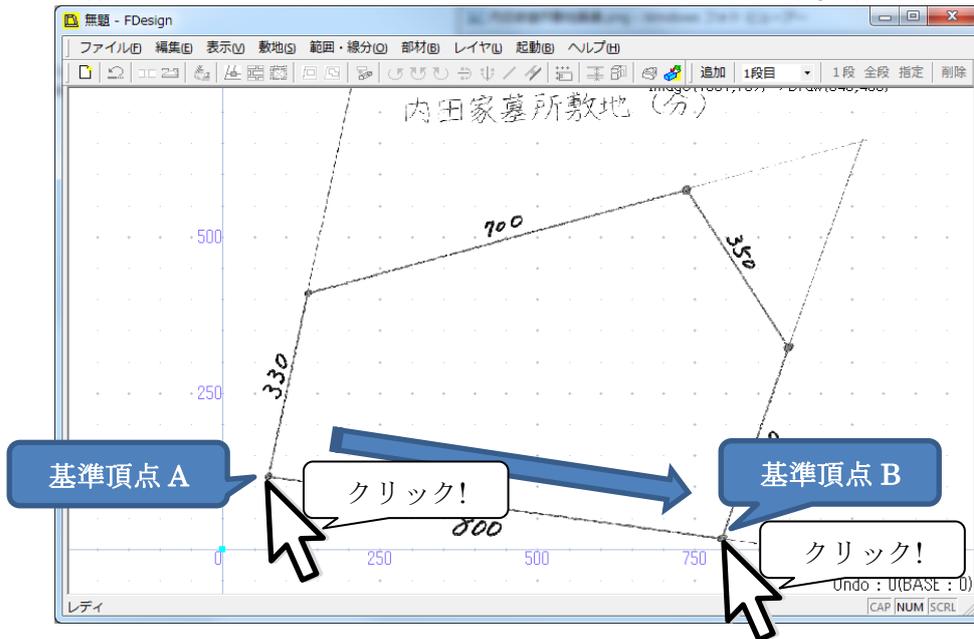
2. 入力画面右上の【画像】ボタンをクリックします。



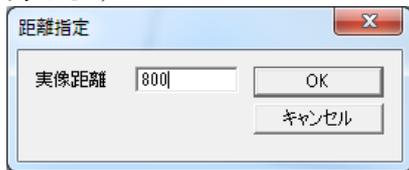
3. ファイル選択画面になるので、画面上に表示したい画像を選択します。（対応画像形式は JPG/BMP/PNG です）



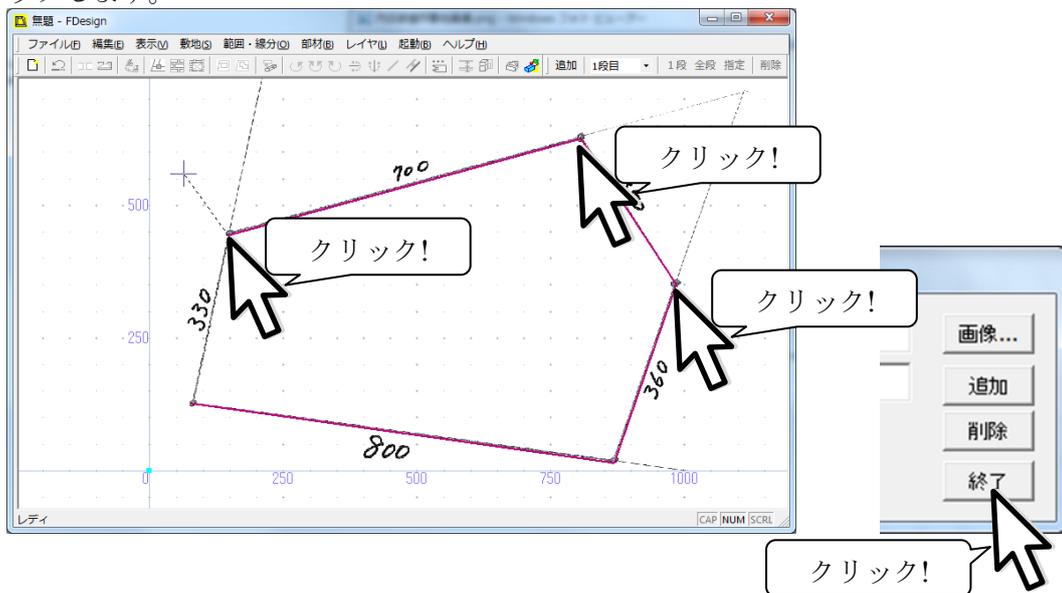
4. 画像が表示されたら基準となる頂点をクリックで選択します。(基準頂点 A)



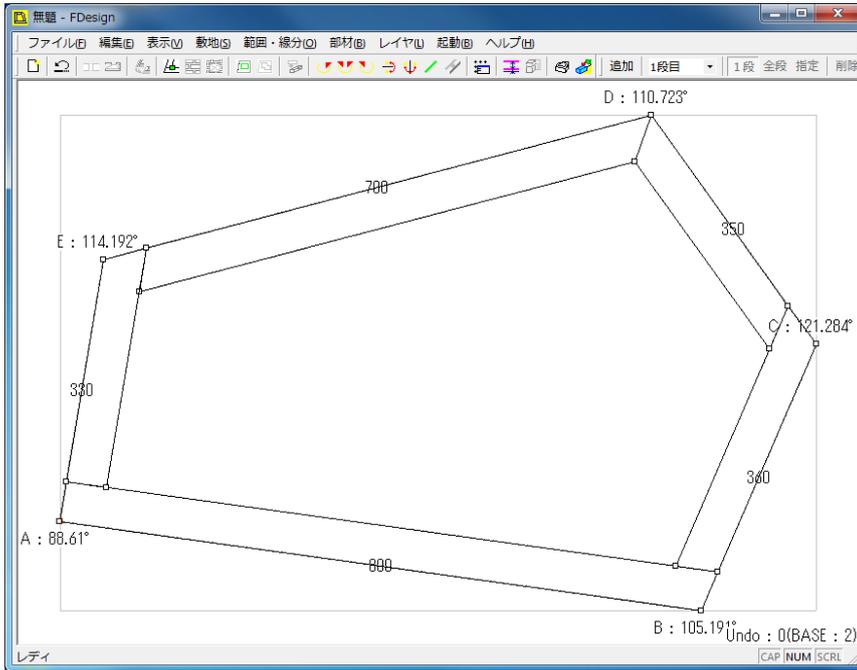
5. 頂点 A から左回りで次の頂点をクリックで選択します。(基準頂点 B)
6. 画面のクリック距離と実際の距離を合わせるため、基準頂点 A と基準頂点 B の間隔を入力します



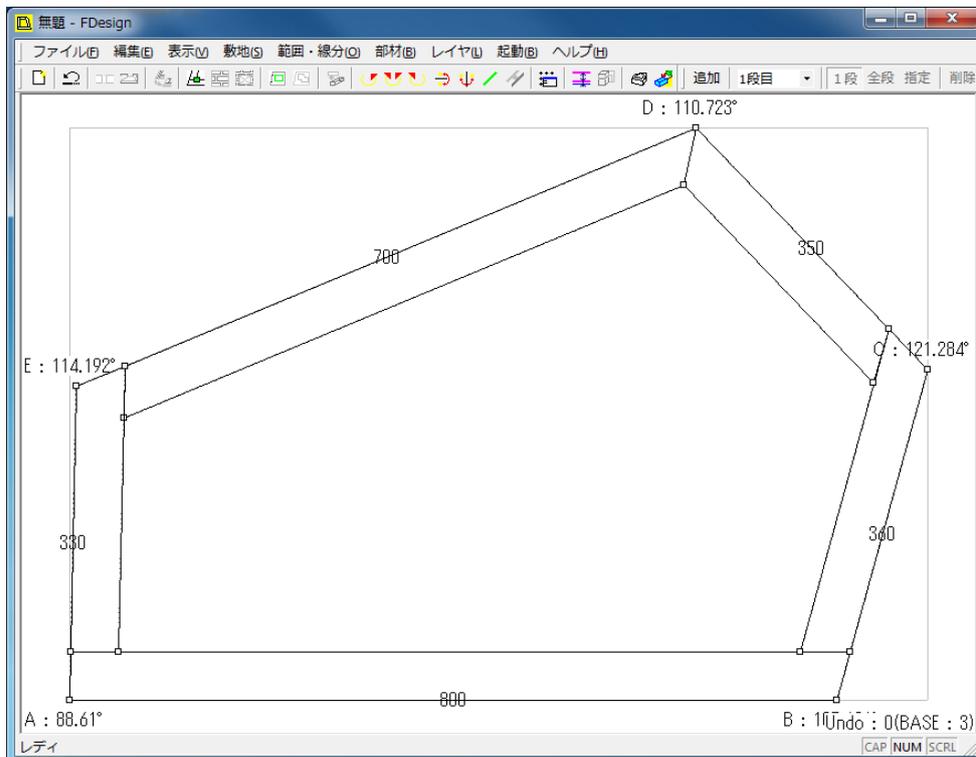
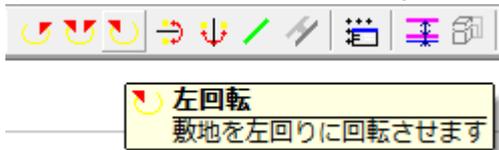
7. 頂点 C、頂点 D、・・・とクリックで選択して行きます。
8. 最初の頂点 A は再度選択せず、図形を閉じていない状態で入力画面の終了ボタンをクリックします。



9. 敷地の形状が作成できたので、表示されたダイアログで、作成した敷地に対する部材の厚み、チリ、1段目の高さ、目地幅を入力します。



10. 敷地を回転し正面を決定します。



第2章 平面設計 V2 ユーザーガイド

第1節 図面管理からの起動

第1項 平面設計起動設定

図面管理の【新規設計】 - 【平面設計】をクリックし、平面設計を起動します。

第2節 新規設計

第1項 形状選択

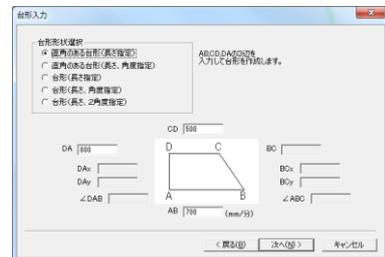
敷地の形状を台形・四角形・正多角形・フリーデザインから選択します。



台形

寸法や角度を入力して台形の敷地を作成します。

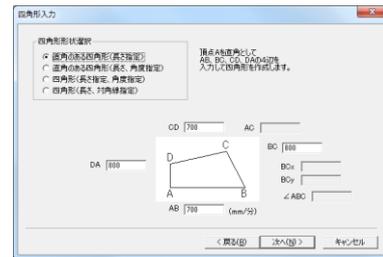
- ① 直角のある台形（長さ指定）
AB、CD、DA の 3 辺を入力して台形を作成します。
- ② 直角のある台形（長さ、角度指定）
AB、DA の 2 辺及び頂点 B の角度を入力して台形を作成します。
- ③ 台形（長さ指定）
AB、BC、CD、DA の 4 辺を入力して台形を作成します。
- ④ 台形（長さ、角度指定）
AB、BC、CD の 3 辺及び、頂点 B の角度を入力して台形を作成します。
- ⑤ 台形（長さ、2 角度指定）
AB、CD の 2 辺及び、頂点 A、B の角度を入力して台形を作成します。



四角形

寸法や角度を入力して四角形の敷地を作成します。

- ① 直角のある四角形（長さ指定）
頂点 A を直角として AB、BC、CD、DA の 4 辺を入力して四角形を作成します。
- ② 直角のある四角形（長さ、角度指定）
頂点 A を直角として AB、BC、DA 3 辺及び頂点 B の角度をして指定四角形を作成します。
- ③ 四角形（長さ指定、角度指定）
AB、BC、CD、DA 4 辺及び頂点 B の角度を入力して四角形を作成します。
- ④ 四角形（長さ、対角線指定）
AB、BC、CD、DA 4 辺及び対角線 AC を入力して四角形を作成します。



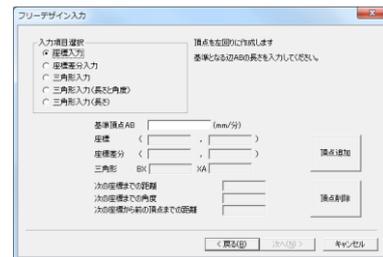
正多角形

一辺の長さと角数を入力して多角形の敷地を作成します。

フリーデザイン

四角形でない敷地を、水平線 AB を基準として左側頂点 B から右回りに頂点作成してゆき、敷地を作成します。

- ① 座標入力
左下頂点 A を (0, 0) として座標を直接入力し、敷地頂点を作成します。
- ② 座標差分入力
直前に作成した敷地頂点との差分を入力し、敷地頂点を作成します。
- ③ 三角形入力
基準頂点 A、B から作成する頂点 x に対する距離 Bx、Ax を入力し、敷地頂点を作成します。
- ④ 三角形入力（長さと角度）
直前の辺 (xy) を基準として、距離 (yz) と角度 ($\angle xyz$) を入力して敷地頂点を作成します。
- ⑤ 三角形入力（長さ）
直前の辺 (xy) を基準として、距離 (xz, xy) を入力して敷地頂点を作成します。



マウス入力

基準点を (0, 0) とし、グリッド上のポイントをクリックして敷地を作成します。また、敷地の平面図画像などの画像データを画面に表示し、画像をなぞることで敷地を作成することができます。



第2項 厚み・チリ・高さ・目地幅

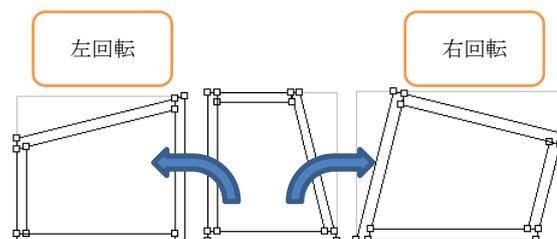
作成した敷地に対して、チリ、厚みを与え、部材を作成します。



第3節 敷地の回転・反転

第1項 敷地の回転

現在の敷地を回転・反転します。



左回転 ([敷地メニュー]-[左回転])

現在表示している敷地の左下を基準に、線分が水平になるように回転します。

右回転 ([敷地メニュー]-[右回転])

現在表示している敷地の右下を基準に、線分が水平になるように回転します。

指定角度回転 ([敷地メニュー]-[指定角度回転])

現在表示している敷地の中心を基準に、指定した角度で回転します。

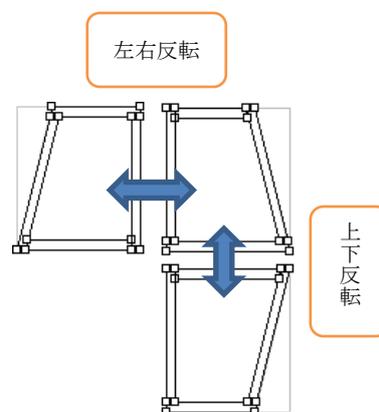
第2項 敷地の反転

上下敷地反転 ([敷地メニュー]-[上下敷地反転])

敷地を上下反転します。

左右敷地反転 ([敷地メニュー]-[左右敷地反転])

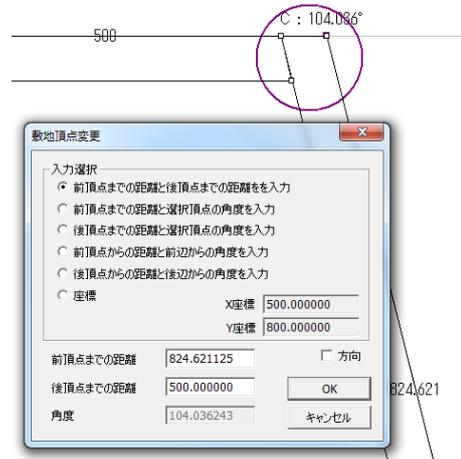
敷地を左右反転します。



第4節 敷地頂点の変更

第1項 敷地頂点の選択

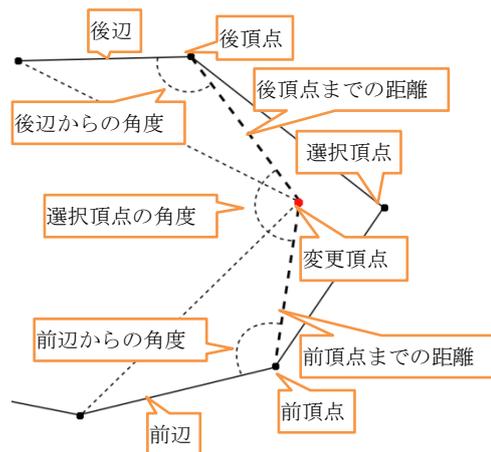
右クリックメニューの【選択モード】→【敷地頂点選択(V)】を選択し、敷地頂点をクリックすることで敷地頂点を選択できます。選択された敷地頂点は○で囲まれます。



第2項 敷地頂点変更

敷地頂点選択後、[右クリックメニュー]-[敷地頂点変更]を選択することで敷地頂点を変更することができます。変更する際に入力する数値は以下の中から選択します。

- ① 前頂点までの距離と後頂点までの距離を入力
- ② 前頂点までの距離と選択頂点の角度を入力
- ③ 後頂点までの距離と選択頂点の角度を入力
- ④ 前頂点からの距離と前辺からの角度を入力
- ⑤ 後頂点からの距離と後辺からの角度を入力
- ⑥ 座標



第3項 敷地頂点追加

敷地頂点選択後、[右クリックメニュー]-[敷地頂点追加]を選択することで敷地頂点を追加することができます。“前頂点までの距離と後頂点までの距離を入力”・“前頂点までの距離と選択頂点の角度を入力”・“前頂点からの距離と前辺からの角度を入力”・“座標”を選択時に追加される頂点は選択した頂点の直前になります。“後頂点までの距離と選択頂点の角度を入力”・“後頂点からの距離と後辺からの角度を入力”を選択時に追加される頂点は選択した頂点の直後になります。

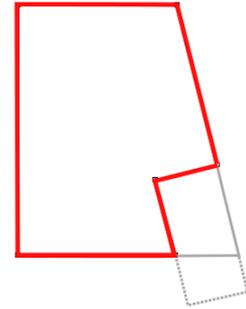
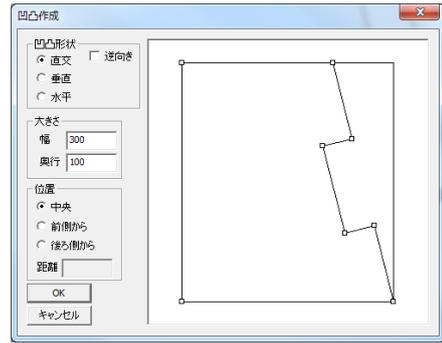
第5節 凹み作成

第1項 敷地への凹み作成

敷地作成後に敷地に凹みを作成します。

1. 追加したい辺の前側頂点を選択し、[敷地メニュー]-[凹作成]をクリックします。
2. 凹みの方向を「直交」「垂直」「水平」から選択します。
3. 作成する凹みの寸法を入力します。
4. 作成する凹みの位置を入力します

※凹みを作成した際、既にある外形線と接した場合、凹みに合わせて外形線が修正されます。



第6節 合口の変更

敷地頂点での部材の合口を変更します。合口は「直線分割」「前通し分割」「後通し分割」「直角分割」「平行分割」「L字部材」の6パターンから選択できます。

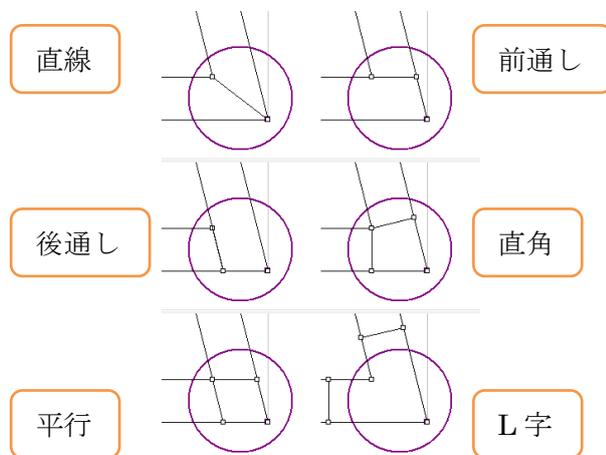
第1項 クリックでの変更

頂点をクリックして合口を変更します。

1. 合口を変更したい頂点をクリックで選択します。
2. 希望の合口になるまで頂点をクリックします。

第2項 合口の形状を指定して変更

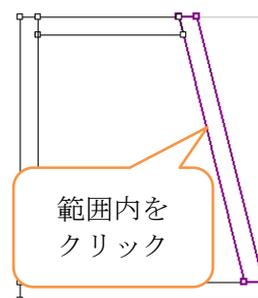
1. 合口を変更したい頂点をクリックで選択します。
2. [右クリックメニュー]-[合口指定]をクリックします。
3. 6パターンの合口から希望の合口形状を指定します。



第7節 部材分割

第1項 部材選択

右クリックメニューの【選択モード】→【部材選択(B)】を選択し、厚みを与えた部材をクリックすることで部材を選択することができます。



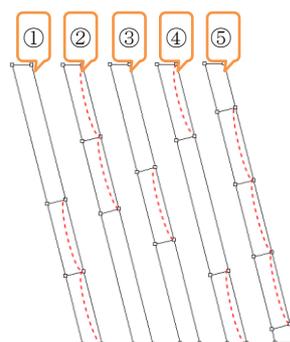
第2項 部材分割

部材選択後、[右クリックメニュー]-[部材分割]を選択すると部材を分割できます。部材の分割方法は次の5パターンから選択します。

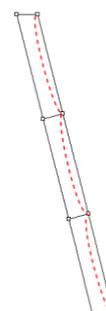
指定した長さで分割

- ① 前側から（頂点が赤く表示されている方向が前側です）
前側の頂点を基準に指定した長さで分割します。
- ② 後側から
後側の頂点を基準に指定した長さで分割します。
- ③ 中心から
中心を基準に指定した長さで分割します。
- ④ 前後から
前側、後側の両方を基準に指定した長さで分割します。
- ⑤ 指定の位置から
前側からの距離を基準に指定した長さで分割します。

指定した長さで分割



等分割



等分割

分割長さを指定せずに指定した個数に等分割します。

三角形に分割

① 前側

部材の前側を部材が直角になるように三角形に分割します。

② 後側

部材の後側を部材が直角になるように三角形に分割します。

三角形に分割

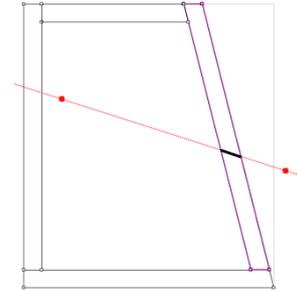


線分を指定して分割

入力した2頂点を通過する直線の延長線上で分割します。

※直線が部材と交差しない場合、分割されません。

線分を指定して分割



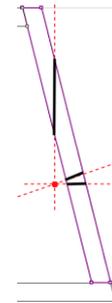
座標を指定して分割

座標を入力し、その座標を通る直線で分割します。分割方向が直交の場合、部材辺に直交し、指定した座標を通る直線で分割されます。

分割方向が水平の場合、指定した座標を通る水平線で分割されます。分割方向が垂直の場合、指定した座標を通る垂直線で分割されます。

※直線が部材と交差しない場合、分割されません。

座標を指定して分割



第8節 部材の変更

第1項 部材の厚み変更

部材選択後、[右クリックメニュー]-[厚み変更]を選択すると、選択した部材の厚みを変更することができます。

部材を選択せずに、[部材メニュー]-[厚み変更]を選択すると、すべての部材の厚みを変更することができます。

第2項 部材の高さ変更

部材選択後、[右クリックメニュー]-[高さ変更]を選択すると、選択した部材の厚みを変更することができます。

第9節 範囲作成

第1項 範囲とは

範囲とは右回りに選択された複数の敷地頂点の集まりです。作成した範囲は、敷石処理や、部材作成、敷石の抜き取りなどに使用できます。

第2項 頂点を指定して範囲を作成

[範囲・線分メニュー]-[範囲指定開始]を選択後、敷地の頂点を左回りにクリックしていくことで範囲を作成できます。作成中の範囲は黄緑色で描画されます。

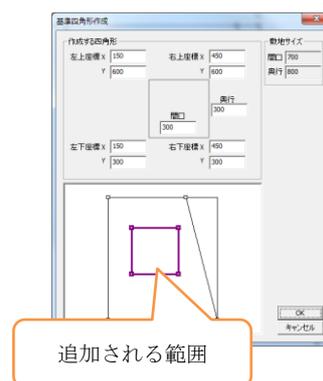
第3項 作成した範囲の固定化

範囲を作成後、[範囲・線分メニュー]-[範囲固定化]をクリックすることで範囲を固定化することができます。固定化された範囲は灰色で表示され、敷石削除機能などに使用します。

第4項 四角形の範囲を作成

[範囲・線分メニュー]-[四角形範囲追加]を選択すると寸法を指定して範囲を作成できます。また、画面下図をクリックすることで、マウス操作で四角形の範囲を指定できます。

【OK】ボタンをクリックすることで固定化された範囲が図面へ追加されます。



第10節 線分作成

第1項 線分とは

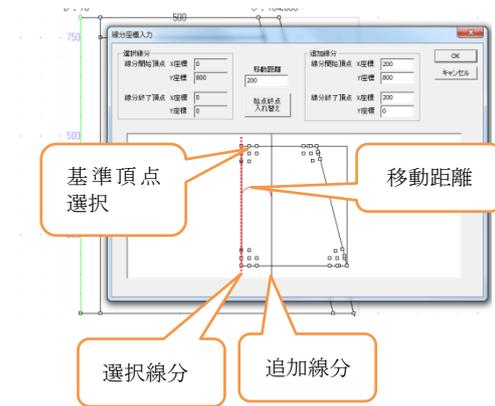
線分とは2点を繋ぐ直線で、他の直線と交差することで、交点を作成できます。作成された交点は、範囲選択時の選択点に使用します。

第2項 線分の選択

[範囲・線分メニュー]-[線分選択]を選択後、敷地、部材、追加作成した線分などの線分をクリックで選択します。選択された線分は黄緑色で表示されます。

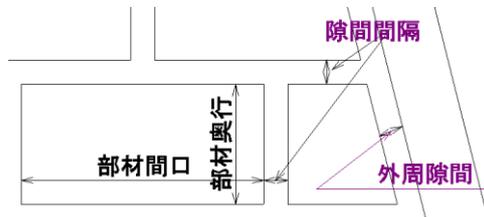
第3項 線分の追加

線分選択後、[右クリックメニュー]-[線分追加]を選択すると、線分を追加できます。線分座標入力に切り替わり、移動距離を入力することで、選択した線分を移動することができます。(選択した直線によって逆方向に移動する場合があります。その場合は移動距離に- (マイナス) を入力してください) また、画面下図の基準頂点をクリックすると、クリックした頂点を基準に移動します。



第11節 敷石処理

第1項 敷石作成



敷石を作成する範囲を作成し、敷石を作成します。

1. 前述の範囲作成で範囲を作成します。
2. 範囲作成が終了したら、[範囲・線分メニュー]-[敷石処理実行]を選択します。
3. 敷石のパラメータ (部材間口、部材奥行、部材厚み、隙間幅) を入力し、ウマ目地の場合は[ウマ目地]にチェック、外周にも隙間を設ける場合は[外周にも隙間を付ける]にチェックを入れます。

第2項 範囲敷石削除

敷石作成後、作成しておいた範囲を指定し、範囲図形の形に敷石をくり抜くことができます。

1. 作成した敷石をクリックで選択します。
2. [範囲・線分メニュー]-[範囲敷石削除]をクリックし、図面上の固定化された範囲をクリックで選択します。
3. 固定化された範囲の形で敷石から部材が削除されます。

第3項 部材作成

作成した範囲を部材化として追加します。

1. 前述の範囲作成で範囲を作成します。
2. [範囲・線分メニュー]-[部材作成]をクリックします。
3. 作成した範囲が部材として追加されます。

	通常部材	追加部材
1 段目	BK	GY
2 段目	NV	BL
3 段目	MR	RD
4 段目	GR	LM
5 段目	OL	YL
6 段目以降	TL	AQ

第12節 段の追加と削除

第1項 新規レイヤ作成（段の追加^{追加}）

[レイヤメニュー]-[新規レイヤ作成]をクリックし、新しい段（レイヤ）を作成します。各レイヤの表示色は右表を参照してください。

第2項 レイヤ削除（段の削除^{削除}）

[レイヤメニュー]-[レイヤ削除]をクリックすることで、現在表示しているレイヤ（段）を削除できます。

第3項 段の切替^{1段目}

[レイヤメニュー]-[上段へ]をクリックすると、一つ上のレイヤ（段）へ表示を切り替えます。また、[レイヤメニュー]-[下段へ]をクリックすると、一つ下のレイヤ（段）へ表示を切り替えます。

また、ツールバーのコンボボックスで表示したいレイヤ（段）を直接指定することができます。

第4項 段の表示切替

編集レイヤ表示（1段ボタン^{1段}）

現在編集中のレイヤ（段）のみ表示します。

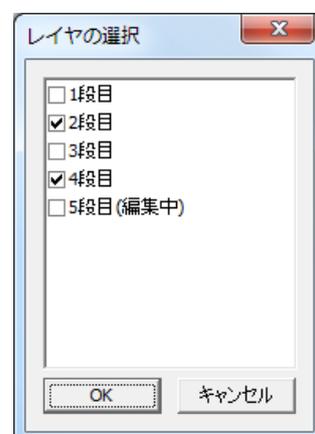
全レイヤ表示（全段ボタン^{全段}）

すべてのレイヤを薄色で、現在編集中のレイヤを通常色で表示します。

指定レイヤ表示（指定ボタン^{指定}）

選択されたレイヤ（段）を薄色で、現在編集中のレイヤを通常色で表示します。

※レイヤを選択するには、ダイアログに表示される項目の先頭にチェックを入れます。

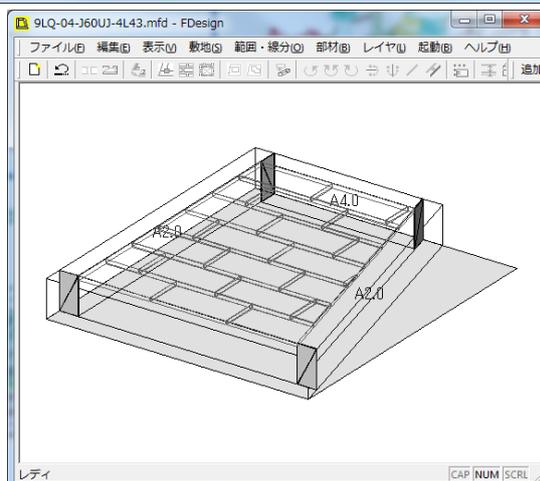
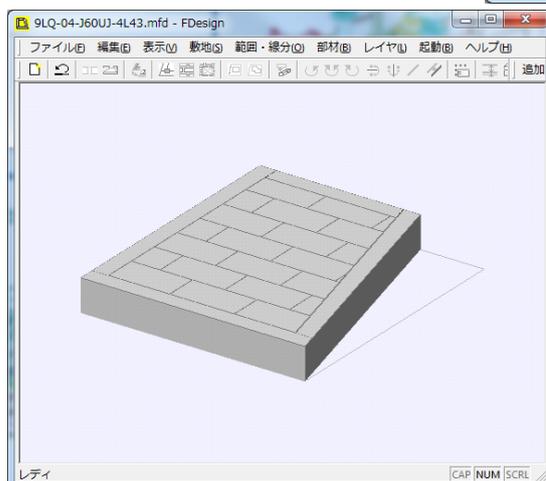
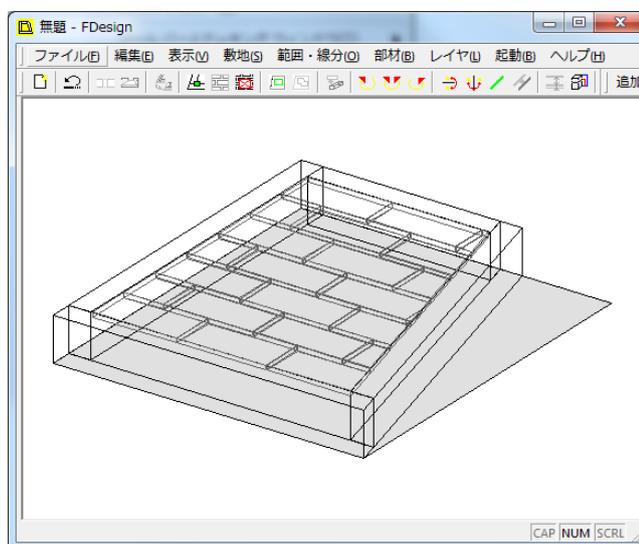


第13節 プレビュー

第1項 外観図表示

[表示メニュー]- [画面表示] -[3次元プレビュー]を選択することで、外観図を表示することができます。

3次元プレビュー中に[表示メニュー]- [画面表示] -[シェーディング]を選択することで、外観図がシェーディング表示になります。また、[表示メニュー]- [画面表示] -[目地]を選択することにより、画面に目地が表示されます。



[表示メニュー]- [画面表示] -[通常]を選択すると、平面での編集モードに戻ります。

第14節 墓石設計の起動

第1項 墓石設計の起動

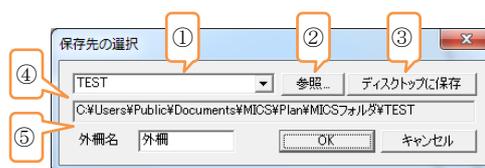
平面設計のデータを墓石設計の MBL データに変換し、墓石設計を起動します。

第2項 新規設計時の墓石設計の起動

1. データ作成後、[起動メニュー]-[墓石設計]をクリックします。

2. 保存先の選択画面が表示されますので、保存先を指定し、【OK】ボタンをクリックします。

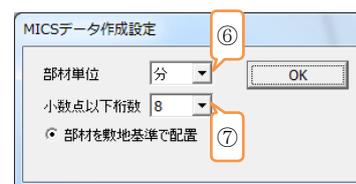
- ① 図面管理のページを選択します。
- ② ①のページ以外に保存する場合に保存先を指定します。
- ③ デスクトップに保存する場合にクリックします。



- ④ 実際に保存される場所が表示されます。
- ⑤ 保存する外柵名を入力します。

3. MICS データ作成設定の画面が表示されますので、部材単位と小数点以下桁数を指定し、【OK】ボタンをクリックします。

- ⑥ 部材単位を選択します。
- ⑦ 小数点以下桁数を選択します。



4. 平面設計が終了し、墓石設計が起動します。

第3項 既存データ読み込み時の墓石設計の起動

既存データ読み込み時の墓石設計の起動では、平面設計データと同じフォルダ内に外柵データ (MBL) が存在した場合、保存先の選択画面は表示されません。外柵データを上書きするかの確認のメッセージが表示されるので、【はい】をクリックして外柵データを上書きしてください。

